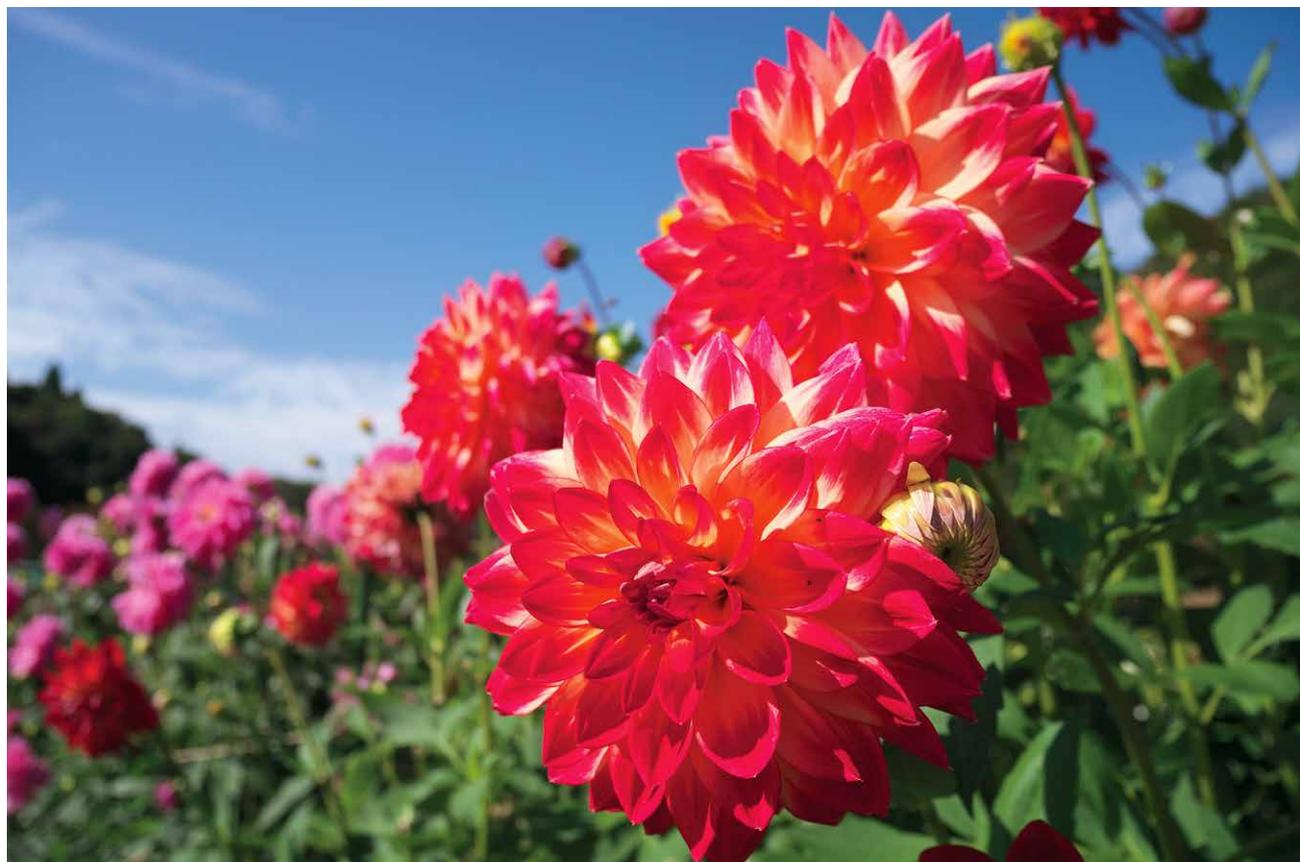


PT **ながの** NEWS

No. 81

2022
10
October



目次	特集：第51回長野県理学療法学会	3
	・ 巻頭言 北信ブロック局長 長野松代総合病院 小林 武雅	2
	・ おしらせ	9
	・ こども福祉部情報	11
	・ 学術の広場 「LDLコレステロールを減少させるには」	12
	・ おすすめ！の一冊 「運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢／下肢・体幹」	13
	・ 北から南から 介護老人保健施設 円会センテナリア	14
	・ 徒然なるままに	15
	・ 賛助会員広告	16



NEWS of
the NAGANO PHYSICAL THERAPY
ASSOCIATION

PT **ながの**
NEWS

No. **81**

巻頭言



北信ブロック局長
長野松代総合病院 小林 武雅

2019年12月に中国にて原因不明の肺炎が確認された。今も猛威を振るっているコロナウイルスとの闘いの始まりである。コロナウイルスの流行により我々の生活様式は一変した。最たるものはデジタル化・オンライン化の加速であろう。研修会などもオンラインが当たり前となった。働き方も問われるようになり、DX（デジタルトランスフォーメーション）という用語が医療業界にも聞かれはじめ、業務のデジタル化は必須のものとなっている。

2022年2月にはウクライナ侵攻が始まり、この巻頭言を書いている時点でも物価高の影響がじわじわと栄勝に影響を及ぼし始めている。

日本経済は失われた10年、20年、最近では30年にもなると言われており、景気の動向に左右される医療業界はここ20年間の診療報酬を実質下げ続けられている。7月の参議院選挙の結果を受けて、リハビリ業界は厳しい時代に突入しようとしているかもしれない。

わたくしごとで恐縮だが、私自身も2021年に北信ブロック局長、2022年に自院のリハビリ部門責任者、組合責任者等を引き継ぐことになり、身の回りのことが大きく変わってきている。近年では情勢変化の速さが言われているが、コロナ禍やウクライナ情勢などを受けてより加速していると思われる。

目まぐるしく変化していく中で、その変化に対応することが重要になってくる。変化に対応できるものこそ生き残ることが出来るのである。そのためには長野県士会員のニーズにこたえられるよう協力しながら活動していきたい。今後ともよろしくお願いします。

第51回長野県理学療法学会大会

令和4年6月18日（土）～19日（日）に開催されました第51回長野県理学療法学会大会「感染流行・災害時における理学療法士の役割」より、皆様のお声をお届けします。

第51回長野県理学療法学会大会を終えて



第51回長野県理学療法学会大会 大会長
飯田病院 林 忠輝

6月18日（土）～19日（日）にかけて、開催されました当学会大会は、県内外合わせて400名を超える参加者と、多くの準備委員・士会役員に支えられ、大盛況（？）にて幕を閉じる事が出来ました。また会期直前の開催方法の変更等により、講師や発表者、参加者に多大なご迷惑をおかけしたにも関わらず、開催することができたことも併せて深く御礼申し上げます。

当学会大会は、感染・災害をテーマにシンポジウムを開催しました。会員PTの講師だけでなく、医師や臨床検査技師といった多職種の講師をお招きして、講演+討論できたことは非常に好評であったと聞いています。また、市民公開講座では、一般参加者に、多くの医師・看護師・介護職といった多職種、そして学校の教員の参加もありました。このように開催主催者として非常に感慨深い学会大会となりました。今大会では叶いませんでしたが、また次の機会に「日本一の焼き肉の街 いいだ」へお越しください。



学会発表を経験して

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
鹿教湯病院
土屋 隆道



この度は、第51回長野県理学療法学会にて演題発表の機会を設けて頂き、ありがとうございました。オンライン開催との事で、学会大会開催に向けてさまざまな準備をして下さった大会長始め、関係者の皆様には感謝を申し上げます。近年、脳卒中に対する長下肢装具の効果が示されてきている一方で、本人用の長下肢装具は非常に高額であり、処方基準も曖昧である印象を受けます。当院でも装具の作製はセラピスト個人の判断が大きく、作製の決め手となる客観的評価は乏しい現状にあります。今回は、長下肢装具作製患者を対象に入院時の評価から退院時の歩行自立と移乗動作の自立の可否について関連する因子を検討し、予測式を作成する事を目的とし、作製の際の一助となればと思い研究を行ってきました。発表を通してまとめる力がついたと共に、院内以外での発表という貴重な経験をさせていただき、自分自身の成長に繋がったと思います。

座長を経験して

健和会病院
松下 麻子



第51回長野県理学療法学会で一般演題座長を務めさせていただきました。初めての座長経験でしたので不安と緊張の中でしたが、大会長はじめ準備委員の皆様のご尽力で無事務めることができ感謝申し上げます。あとから思えばもう少し議論を広げられれば良かったなどと反省することは多々ありますが、発表者の先生方とも意見交換させていただく機会を得て私自身大変勉強させていただき良い経験となりました。

学会大会開催間近でオンライン開催に変更となり、準備委員や発表者の皆様は準備にご苦労されたことと思います。一般演題に関してはやはり会場での開催のほうがより参加者との意見交換ができ有意義なものとなると思いますので、一日も早く県内の理学療法士が一堂に集まって学会大会がおこなえるような状況になることを祈っています。(私のようなシャイな座長としては大勢の参加者の前にでなくてすむ利点(?)はありますが…)

ここからは前回大会となる第50回長野県理学療法学会表彰演題者のお声をお届けします。

最優秀賞を受賞して

諏訪共立病院

長田 澄敏

研究を始めるにあたって動機となったのは“家で生活がしたい”という患者様の声でした。在宅生活を再開するにあたって大きな障壁となる“トイレ動作”そして“認知機能”という二つのキーワードが、どのように関係しているのかを明らかにすることで、患者様そして御家族の皆様の笑顔を取り戻すことができると確信を持ち、文献を集め始めました。今回の研究から、当院回復期病棟に多い年齢85歳を超える“超高齢者”の方々において、トイレ動作獲得のために認知機能が関係している可能性が示唆されました。今回の研究から私に関わらせていただいた患者様、御家族様の笑顔、そして2035年問題と対峙する日本における超高齢社会への一助となれば幸いです。最後に、今回ご協力いただいた患者様、母校信州リハビリテーション専門学校の先生方、病院スタッフへ心から感謝の言葉を述べさせていただき、御礼の寄稿とさせていただきます。誠にありがとうございました。



優秀賞を受賞して

松本歯科大学病院

岡崎 瞬

この度は、第50回長野県理学療法学会において、優秀賞を頂き誠にありがとうございます。発表にあたりご指導頂きました先生方、ご協力頂きました同僚の皆様に感謝申し上げます。

今回の発表では、間欠性跛行を呈する脊柱管狭窄症患者の歩行について症例検討を行いました。普段の臨床で、歩行評価をする機会は多くあると思います。しかし、歩行評価が主観的に偏ってしまうことが多く、患者の抱える本質的な問題に辿り着けないことを経験します。そこで、3軸加速度計を用いて、定量的（客観的）な歩行評価を行ったことで、明確な問題点の抽出ができ、良好な治療成績となったのではないかと考えます。

今回の受賞を励みにし、日々の臨床を謙虚に積みかさねて、さらなる治療効果の高い理学療法を提供していきたいと思っています。



優秀賞を受賞して

丸の内病院
赤羽 陽太



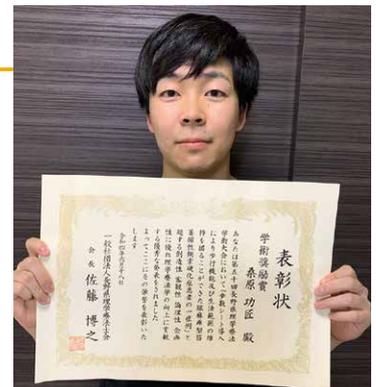
この度は長野県理学療法学術大会において、優秀賞を頂き誠にありがとうございます。発表にあたり、ご指導して頂きました先生、職場の先輩方の協力のおかげで最後までやりきることができました。

今回の発表では、腰椎術後患者の退院時の連続歩行距離に関連する術前の身体機能因子の検討を行いました。術前の中殿筋筋力の左右比と連続歩行距離が退院時の連続歩行距離に関連があるという結果を受け、術後早期から中殿筋の左右差を改善させる取り組みが重要であると感じました。

今回の受賞を励みに、日々の疑問を振り返り、患者様に還元できるように頑張りたいと思います。この度は誠にありがとうございました。

学術奨励賞を受賞して

佐久総合病院
桑原 功匠



この度は第50回長野県理学療法学術大会において学術奨励賞を賜り大変光栄に思います。学術大会長の宮嶋先生をはじめ、選考委員ならびに関係の諸先生方に心より感謝申し上げます。

今回発表した「歩数シート導入により歩行機能及び生活範囲の維持を図ることができた球麻痺型筋萎縮性側索硬化症の1症例」はALS患者の運動負荷や在宅での運動継続に対する介入方法を悩むことが多く、定期的にモニタリングできるツールとして歩数シートを使用してみたことがきっかけでした。神経難病患者様では、病状進行と廃用症候群が並行し、急速に身体機能が低下することも少なくありません。今回の受賞を励みにし、今後も患者様やその家族の望む生活を送っていただけるようにより一層の研鑽を重ねて参りたいと考えています。

最後になりましたが、受賞に関わる研究にご協力いただいた佐久総合病院の先生方に深く御礼申し上げます。

学術奨励賞を受賞して

相澤健康スポーツ医科学センター
田邊 樹里



「行動変容」この言葉が、今回賞を頂いた報告の keyword です。

私は、理学療法士として自分に出来る事の少なさを日々痛感しています。どんなに私がおの方に良くなって欲しいと思っても、様々な悩み解決にはその方自身の「行動」が必要だからです。

私たちが日頃接している「患者さん」は、元から「患者さん」だったのではなく、いつの間にか「患者さん」になったのではないのでしょうか。

「気が付いたら患者さんになってしまっている人」をこれ以上増やさない、健康寿命を延伸し自分らしい人生を歩んで頂く。そのために、私たち理学療法士の持つ知識や経験をどのように伝え、「行動変容」を促せるか。

そもそも病院に来る患者さんを作らないことが、人生 100 年時代のこれからの日本に求められる私たち理学療法士の役割だと考えます。まずは自分の「行動」から。

今回の受賞にあたり、関わって頂いた全ての方に感謝申し上げます。

第 52 回長野県理学療法学会に向けて



第 52 回長野県理学療法学会 大会長
くろさわ病院 國分 隆行

この度、第 52 回長野県理学療法学会を令和 5 年 6 月 17 日（土）、18 日（日）に佐久市で開催する運びとなりました。

大会テーマは「理学療法新時代の幕開け」と題し、生涯学習制度改正にはじまり診療参加型実習本格化や DX、2025 年には地域包括ケアシステム稼働、さらには 2040 年問題等、理学療法を取り巻く環境が加速的に変化していく時代の幕開けをポジティブにとらえて前進していける大会となるよう企画しております。

本大会は「新型コロナウイルス感染拡大防止のための長野県理学療法士会活動指針」に則り、Hybrid 形式での開催を予定しておりますが、真のウィズコロナへ移行し、多くの皆さまに快適健康都市：佐久市へお越しいただけるよう準備を進めて参ります。

充実した学会大会となりますよう、会員の皆様のご参加、演題応募をお待ちしております。

令和4年10月1日

会員各位

(一社) 長野県理学療法士会
会 長 佐藤 博之 (公印省略)
第52回長野県理学療法学会
学会会長 國分 隆行 (公印省略)

第52回長野県理学療法学会開催のお知らせ

拝啓 時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第52回長野県理学療法学会を下記の要項にて開催いたします。
多数の皆様の参加をお願い申し上げます。

敬具

記

テーマ：理学療法新時代の幕開け
期 日：令和5年6月17日(土)～6月18日(日)
開催形式：佐久市市民創錬センターを主会場とした
ハイブリッド形式*

*「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための長野県理学療法士会活動指針」に則り、感染状況等によっては開催形式を完全 web へ変更となる可能性もございます。開催形式については、今後開設致します大会特設 HP 等でお知らせ致します。

以上

令和4年10月1日

会員各位

第52回長野県理学療法学術大会
大会長 國分 隆行
(一社)長野県理学療法士会
学術大会部長 森本 正道

第52回長野県理学療法学術大会演題募集のお知らせ

拝啓 秋麗の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第52回長野県理学療法学術大会の演題を下記の要項で募集致します。皆様のふるってのご応募をお待ちしております。

敬具

記

- 内 容 : ①演題名 (仮題でも可)
②演者名 (所属、筆頭演者氏名)
③発表内容を簡潔にまとめたもの
(抄録については演題の採用決定後に詳細を送付致します。)
④理学療法士免許取得年 昭和・平成 年 月
⑤日本理学療法士協会会員番号

応募先 : 〒385-0042 長野県佐久市中込1-17-8
社会医療法人恵仁会 くろさわ病院
リハビリテーションセンター 宿岩 巧雄
TEL: 0267-64-1002 (直通)
FAX: 0267-64-1012
E-mail: 52taikai@keijinnet.or.jp
*郵送・FAX・E-mail のいずれかで送付願います。

締め切り: 令和4年12月31日

以上

- * 今年度のこども福祉部による開催企画（予定）についてのお知らせ *
- * COVID-19 感染リスクを考慮して予定が変更になることをご承知おきください。

● 小児リハビリテーション研修会（WEB 開催） ●

＜脳性麻痺の痙縮治療＞ 11月26日（土） 13:00～16:00

Botox から ITB への移行時期や適応時期、メリットデメリット、施術後のリハをどのように進めていくか

*リハビリテーション職種対象に Web 研修会を開催します。講師は以下の方々です。

長野県立こども病院 神経小児科 本林光雄 医師 ・ 理学療法士 佐藤紗弥香 氏

● 小児リハビリテーション施設見学会 ●

県内で小児のリハビリテーションに関わっている方達の悩みや疑問に答えられる場を作れないかと考え、小児リハビリテーションを行っている施設の見学会を行っています。昨年は COVID-19 の感染拡大により開催を断念しましたが、今年は、感染状況をみながら 10 月～2 月に開催の予定です。

受入施設が県内各地の 7 施設と少し増えました。申し込み方法など詳細については士会からの「ご案内」をご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしています。

● ながの こども療育用具・福祉機器展 ●

昨年は、COVID-19 の感染拡大により、ながの こども療育用具・福祉機器展を WEB 版にて開催しました。

各業者様のご協力の下、ながのこども療育用具・福祉機器展 WEB 版を多くの方々にご覧頂き、ありがとうございました。今年度は、WEB 版開催（10 月 11 日ごろ予定）と会場開催（11 月 3 日 10:00～15:00 予定）しています。

会場開催につきましては、感染拡大防止策を万全にとったうえで行いたいと思います。

ただし、感染警戒レベルによっては、やむを得ず中止とする場合もあります。

昨年のホームページは現在も公開されていますので興味のある方はご覧ください。

ホームページアドレス <https://hukushikikiten.wixsite.com/naganokodomo>



1. コレストロールの役割

コレステロール自体は細胞膜・各種のホルモン・胆汁酸を作る材料となり体に必要な物質のため悪いものではない。

2. LDL（低比重リポタンパク質）とHDL（高比重リポタンパク質）

たんぱく質などと結合して、リポタンパク質として血液中にとけ込んでいるコレステロールが生活習慣病の因子として取り上げられる。

LDL は肝臓のコレステロールを体全体に運ぶ役割を持ち、体にコレステロールを貯めるため「悪玉」と呼ばれる。

HDL は体内の血管壁にたまったコレステロールを肝臓に運ぶ役割を持ち、体からコレステロールを回収するため「善玉」と呼ばれる。

3. LDL と動脈硬化

LDL が血管内に増えすぎると血管壁にたまり、活性酸素の影響を受けて過酸化脂質となる。過酸化脂質は動脈硬化を進行させる。更に LDL が増えると動脈内膜に沈着して柔らかい粥状物質（プラーク）となる。さらに柔らかくなったプラークが破綻して、血栓が形成されることで心筋梗塞、脳梗塞などの血管疾患を引き起こす。

4. LDL を減少させる食事と減少機序

食事で多く採るべきは水溶性食物繊維である。水溶性食物繊維は水に溶ける性質があり、腸の中でネバネバとした状態となり脂肪の吸収を促す胆汁酸や炭水化物などを吸着して体外へ排出する機能を持つため脂肪の吸収を抑えることができる。水溶性食物繊維が多く含まれる食材に海藻類、オーツ麦がある。

また、キャベツ、ブロッコリーなどのアブラナ科の摂取も有効である。アブラナ科の野菜に含まれる天然のアミノ酸が肝臓でコレステロールを胆汁酸に変化させて排出する機構を活性化させる。

5. LDL を減少させる運動と減少機序

身体の中ではエネルギー源となるアデノシン三リン酸（ATP）が幾つかの経路で生成される。その1つである有酸素エネルギー代謝における ATP 産生では脂肪酸が主なエネルギー源として利用される。有酸素運動により血中の中性脂肪は脂肪酸とグリセロールに分解する。細胞内に取り込まれた脂肪酸はミトコンドリアで完全に酸化されて大きなエネルギーを生む。この時の脂肪酸の酸化には大量の酸素が必要であるため、中性脂肪を燃焼するには有酸素運動が有効である。

おすすめ！の一冊

会員の皆様のおすすめの書籍を紹介させていただきます。



タイトル：『運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢／下肢・体幹』

著 者：林 典雄

出版社名：メジカルビュー社

今回私が紹介する書籍はかなり有名なものかと思えます。個人や職場、養成校等で既にご活用されていることがあるかと思いますが、まだ「PTながのNEWS」で紹介されていなかったようですので、紹介したいと思います。

今回紹介する書籍は「機能解剖学的触診技術 上肢」と「機能解剖学的触診技術 下肢・体幹」のシリーズ全2冊です。

運動器リハビリテーションに関わるすべてのセラピストに欠かせないと言っても過言ではない触診技術を、それに関連した最新の機能解剖学等を織り交ぜながら、詳細にかつ読み手に分かりやすく紹介してくれる大変素晴らしい書籍となっています。

ページは全てカラー印刷であり、実際に触診を行っている写真や、解剖学的なイラスト、超音波画像など随所に利用されており、非常に見やすく、そして分かりやすい、勉強のしやすい内容となっています。

『上肢』は「I 触診の基本」「II 骨」「III 靭帯」「IV 筋」の全4章で構成されており、『下肢・体幹』は、「I 下肢の骨」「II 下肢の靭帯」「III 下肢の筋」「IV 体幹」の全4章で構成されています。

各章では、それぞれの身体の部位ごとに触診に必要なポイントのみならず、前述した通り、筋肉や靭帯の機能を分かりやすく解説されてあるため、理解が進むのみならず、実際の施術に活かせる知識が自然と身に着いてくるように思

います。

若手のセラピストの学習にはもちろんのこと、中堅・ベテランの方でも必要な知識と技術を確認するのにも十分に活用できるかと思えます。

まだ、一度もこの書籍を見た事のない方、触診の技術を勉強したい方、勉強し直したい方におススメします。

介護療養型老人保健施設いずみの 通所リハビリテーション 大熊 淳志

●介護老人保健施設 円会センテナリアン



原 裕美

当施設は、高森町の南アルプス連峰を遠望できるおよそ5000坪という広々とした敷地内にあります。入所定員140名（認知症専門棟40名）、通所リハビリ定員50名、リハビリスタッフはPT3名、OT3名、ST1名の合計7名です。通所リハビリにおいては、平成27年の介護報酬改定から、ご利用者・ご家族を交えたリハビリテーション会議を開催し、「その人らしい生活ができるように」そして「やってみたい」「やってみよう」という気持ちを大切に、通所リハビリで培った力を、ご自宅での活動につなげられるよう努めています。

コロナ禍のため、これまでできていた活動や支援が制限されていることも多いですが、暮らしてきた歴史、大切にしてきたものなど、それぞれのご利用者に寄り添い、今できることを一つひとつ丁寧に行い、地域の多くの人たちから認めてもらえるよう、日々熱意をもって取り組んでいます。



ま徒
ま然
に…なる鹿教湯病院
濱野 一希

新型コロナウイルスが流行を始めて2年以上が経ちますが、未だに感染状況は落ち着かず、大変な日々を過ごされている方も多いと思います。そんな中皆さんはどのように息抜きをされていますでしょうか？人それぞれ息抜きの方法はあると思いますが、私がおすすめしたいのはコーヒーで一息をつくことです。昨今大手のコンビニでは100円ほどでおいしいコーヒーが楽しめるようになってきました。コーヒーがより身近になっている中で、現在コーヒーはサードウェーブ（三回目のブーム）を迎えているようです。サードウェーブとは、簡単に言うと高品質な豆を、比較的浅い焙煎（大手チェーンのコーヒーは深入りが多い）で丁寧に抽出するというものだそうです。現在は各地にコーヒー豆を自身の店で焙煎しているコーヒー店も多くあるため、比較的手軽に触れることができます。私も息抜きによくコーヒー店でコーヒーをいただきます。浅煎りのコーヒーはその味をフルーツや紅茶と表現することが多く、コーヒー豆の産地や焙煎方法によって様々な味が楽しめます。「コーヒーは苦くて苦手」と思っている方も、一度チャレンジしてみるとイメージが変わるかもしれません。皆さんも是非いつもとは違ったコーヒーで一息ついてみてはいかがでしょうか？



賛助会員広告

車イス・介護用品・福祉機器
身体障害者用自動車運転装置

製作・販売・レンタル

Mitsui **マツイ商会(有)**



本社 〒390-0827 松本市出川2丁目19-6
☎ (0263) 87-2255・FAX (0263) 25-5577
長野営業所 〒381-2204 長野市真島町真島1286
☎ (026) 285-6070・FAX (026) 285-6139

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修
CARE 介護ショップ **サクラケア**

千曲店 /TEL(026)273-4115 佐久店 /TEL(0267)64-5115
長野店 /TEL(026)223-4115 塩尻店 /TEL(0263)59-4115
長野北店 /TEL(026)252-4115 伊那店 /TEL(0265)77-4117
長野南店 /TEL(026)299-4115 松本店 /TEL(0263)78-6311
上田店 /TEL(0268)21-4115 上越店 /TEL(025)531-0553
中野店 /TEL(0269)24-6775

長野県内10店舗のネットワークで県内どこでも
安心のサービスをお届けします。
URL <http://www.sakura-care.co.jp/>

有限会社

アルテックブレース

愛知県一宮市猿海道2-11-9
〒491-0838
TEL 0586-23-6808
FAX 0586-23-6818

ITを活用した新しい認知リハ



RehaCom

認知機能をチェック&トレーニング
レンタルプランもございます！

注意力

記憶力

視覚認知

遂行機能



キッセイコムテック株式会社 公共・医療ソリューション事業部
TEL :0263-40-1122 E-mail motion@comtec.kicnet.co.jp

長野県理学療法士会員の皆様の
一生の安心をお手伝いしたい……

「生きる」を創る。

Aflac

アフラックサービスショップ (株) エヌアイ
募集代理店

フリーダイヤル 0120-14-6465
〒388-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

有限会社

古瀬義肢製作所

松本市沢村2-2-30
〒390-0877
TEL 0263-33-4586
FAX 0263-33-3066

ウイールチェアー中部株式会社

(H22.8 社名変更しました)

〒407-0003

山梨県韮崎市藤井町北下条 1140-11

TEL 0551-23-4368

FAX 0551-23-4369

運動計測なら
おまかせください



ワイヤレスで動作解析

8チャンネル小型無線モーションレコーダ

マイクロストーン株式会社

〒385-0007 長野県佐久市新子田 1934

URL : <http://www.microstone.co.jp>

土屋メディカル株式会社

長野店

〒381-2246

長野市丹波島2丁目10-12

TEL 026-283-7070

もっとたくさんの笑顔のために

地元で介護のお手伝い

福祉用具のレンタル・販売・住宅リフォーム

障害者福祉・介護食 etc.

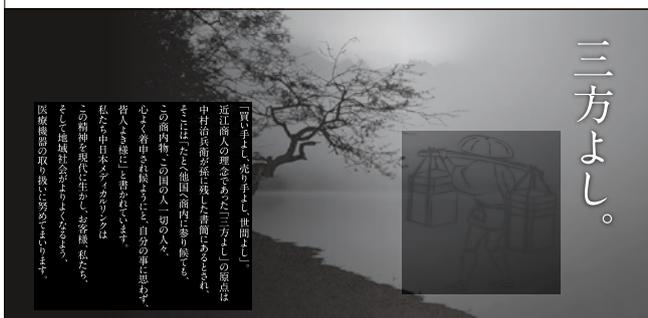
有限会社 ケーアンドケーメディカル



長野県佐久市白田 1935

TEL0267-82-0239 FAX0267-82-0026

URL : <http://www.kk-medical.co.jp>



三方よし。

「良い手し、赤い手し、世間よし」
近江商人の理念であった「三方よし」の原形は
中村徳兵衛が、徳川上野に備えられた、
そこはたとへば他国へ商入る者候でも、
この商内物、この田の人一切の人々、
心よ着甲され候ようとして、自分の事と思わず、
皆人々を救い、助け、
私たちが日本メディカルには、
この精神を現代に生かして、皆様、私たちが、
そして、地域社会がよりよくなるよう、
医療機器の取り扱ひに努めまわります。

Seiei Alles Sante

中日本メディカルリンク株式会社

- | | | |
|---|---|---|
| ■本
社 〒390-0873 松本市丸の内9-1
TEL:026338-0411 FAX:026338-0266 | ■長野事業所 〒381-0222 長野市大正風3107-1
TEL:0265221-1380 FAX:0265221-1248 | ■松久営業所 〒385-0011 佐久市鎌久保137-6
TEL:0267768-8810 FAX:0267768-9479 |
| ■安曇野事業所 〒396-0204 安曇野市穂科高家2287-3
TEL:0269371-2530 FAX:0269371-3033 | ■伊那営業所 〒396-4311 上伊那郡穂科高家2287-3
TEL:0269537-2528 FAX:0269537-1998 | ■専任事業所 〒390-0873 松本市丸の内9-1
TEL:026338-0908 FAX:026338-2067 |
| ■商品管理センター 〒396-8304 安曇野市穂科高家2287-3
TEL:0269371-2020 FAX:0269371-2022 | ■伊那営業所松本支店 〒396-4884 飯田市具名古野2151 1-1
TEL:0266355-1160 FAX:0266355-1161 | ■介護用品営業所 〒396-0873 松本市丸の内9-1
(ヘルスマガジン) TEL:026338-4124 FAX:026338-6115 |

アフラックサービスショップ
株式会社 エヌアイ
「生きる」を創る。



長野店 フリーダイヤル 0120-14-6465
〒381-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

上田店 フリーダイヤル 0120-65-4427
〒386-0002 上田市住吉287-5



義肢・装具・車椅子
リハビリ用品等
御用命下さい

長野営業所
松本市大字島立330-1
(TEL)0263-48-2061
本社
愛知県小牧市大字林
210番地の3
(TEL)0568-47-1701

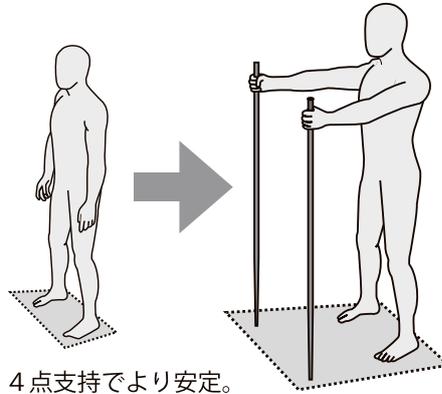
確かな知識と技術
温かいハートで
求められる製品をお届けします

株式会社松本義肢製作所
しあわせをかたちにする人と技術の会社です

新しいウォーキングスタイルの提案

あんしん2本杖

4点支持により転倒を予防、
これからの杖のカタチです。



4点支持でより安定。

あんしん2本杖 税込 ¥7,875(2本1組)
色：ブラウン、イエロー



お問合先

株式会社 **シナノ**
〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1
TEL.0267-67-3321 FAX.0267-67-3326

リハノメ PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

リハノメとは

「リハノメ」はPT・OT・STのための、
どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。
臨床に悩むPT・OT・STのために、
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に
基づいた知識・技術をお届けいたします。

どこでも
学べる

日本最大の
講師数

オフライン
再生対応

POINT 4
定額見放題

豪華講師陣が
続々登壇!

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で...

980円 (税込) お申込はこちら



理学療法士 / 国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究所 福祉支援工学分野 教授
石井 慎一郎 先生

理学療法士 / さとう整形外科
赤羽根 良和 先生

法人様向けプランも
ご用意しております
詳しくは公式HPまで!

リハビリテーションを『かたち』にする会社 **gene** ジーン
〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1丁目26-12 IKKO新栄ビル 6階

お問い合わせは
こちらまで
お願いいたします

✉ seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 **リハノメ** 検索



原稿掲載依頼

「PT ながの NEWS」へ原稿の掲載をご希望される方は、広報部までご連絡をお願い致します。
メールアドレス：kouhou-pt@kakeyu-hp.com



発行 一般社団法人 長野県理学療法士会
代表 佐藤博之（飯田市立病院介護老人保健施設ゆうゆう）
編集 保高慎司（鹿教湯三才山リハビリテーションセンター）
藤原印刷株式会社
事務局 〒380-0836 長野県長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 5F
（一社）長野県理学療法士会 事務局
TEL 026-234-3540 FAX 026-234-3550
ホームページアドレス <https://ptnagano.or.jp>